

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公開番号】特開2004-248298(P2004-248298A)

【公開日】平成16年9月2日(2004.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-034

【出願番号】特願2004-37062(P2004-37062)

【国際特許分類】

H 04 R 25/00 (2006.01)

【F I】

H 04 R 25/00 L

H 04 R 25/00 M

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

ダイナミックレンジの低下による聴覚障害を補償するための多チャネル・コンプレッサを備え、前記多チャネル・コンプレッサはデジタル音信号を入力するためのデジタル入力と、増幅器に接続される出力とを有し、前記増幅器は周波数依存した聴覚低下を補償するために周波数の関数としてゲインが選択可能であり、かつ処理されたデジタル音信号を出力するための出力部に接続される補聴器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

前記増幅器は、複数の周波数チャネルを有し、各周波数チャネルの静的ゲインがそれぞれ選択可能な多チャネル増幅器として構成され、増幅器の各周波数チャネルは、前記コンプレッサの周波数チャネルと異なる請求項1記載の補聴器。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項13】

補聴器の出力パワーを制限するために設けられ、かつ前記増幅器の出力に接続される出力コンプレッサをさらに備える前記請求項の何れか一つに記載の補聴器。